



APU発

世界の窓



随時掲載

ブルキナファソ【民族】

エマニュエル・ソロ (25)
(ニックネーム エマニュエル)
アジア太平洋学部3回生



ブルキナファソ、この国名を聞いたことがある人は少ないのではないだろうか。私は運よく、同国出身のエマニュエルと寮が一緒で知ることができた。彼いわく、大学中を探しても他にはないらしく、どんな所か熱心に紹介してくれた。

ブルキナファソは西アフリカに位置し、チヨコレートでおなじみのガーナなど6カ国と国境を接する国だ。国民の大多数が農業を営んで生活しており、60を超える民族に分かれている。「ファソダンファニ」と呼ばれる、コットンの織物で作られる伝統衣装は、美しいしま模様特徴的。それぞれの民族に独自の様式があり、それで出身が分かるんだとか。

その中でも珍しい家に住むのが、ティエベレ地域のカセナ民族だそう。集落にある土造りの建物の壁には、さまざまな幾何学模様が描かれている。興味深いのは、この装飾が女性の仕事だということ。

理由を聞くと、「女性は家の守護者と見なされていて、美しくするという意味で彼女たちにしかできない」と語ってくれた。また「それだけ女性が重要な存在だということを示している」とも。そして、これは母から娘へと受け継がれていくという。

伝統衣装に独自の様式

別府市の立命館アジア太平洋大 (APU) は留学生が約半数を占め、出身国・地域は100

× × ×
(小林良)

彼は、国の文化を伝える一方で、日本文化を通じて自国の課題解決のヒントを学んでいる。異なる二つの文化が相互に作用し、良い影響を与え合う。私も、少しでも他文化に触れることができてうれしく思う。

「ファソダンファニ」と呼ばれる伝統衣装を着るエマニュエルさん (右)



以上に上る。日本人学生にペンとカメラを委ね、インタビュアした内容を思い思いにつづってもらおう。



こはやし・まこと 21歳。サステイナビリテイ観光学部2回生。東京都出身。「なせば成るなせば成らぬ事も」を座右の銘に日々奮闘中。



〔問①〕 「ブルキナファソ」という国は何大陸にありますか？ 国境を接する国数は？

〔問②〕 この国には多くの民族があります。その数は（ ）を超える。数字を入れましょう。

〔問③〕 出身が分かるという伝統衣装の名前は？

〔問④〕 この国と、周辺の国について調べてみよう。